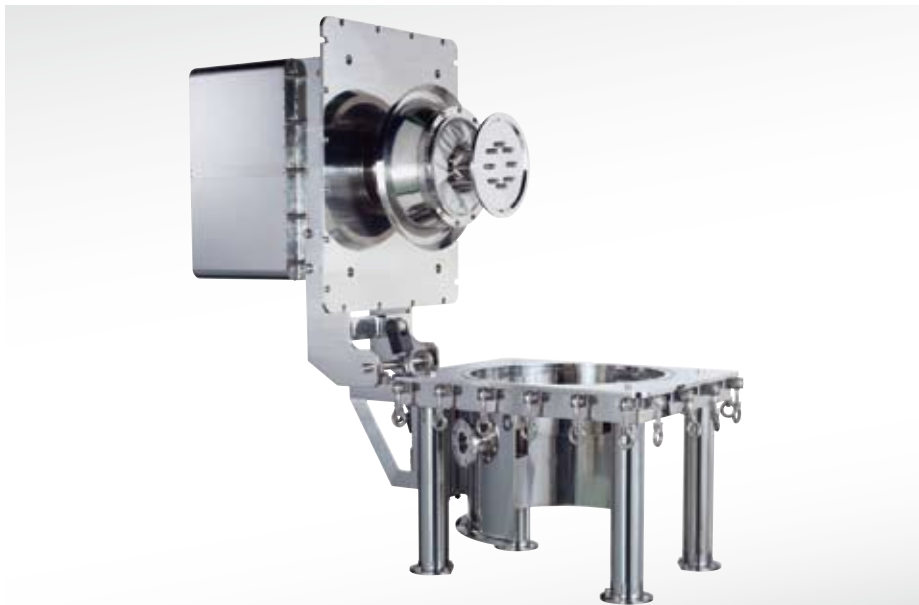


海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイデンジャパン



遠心分離と加圧のダブルパワー。新商品の下部排出加圧遠心分離機『RINO 400』

株式会社 松本機械製作所

GMP規格製品で国内トップシェア 医薬品業界を中心とした 遠心分離機のパイオニアメーカー

ニッチな製薬市場に着目
国内60%のシェアを誇る

昭和14年、鉄工所として創業した松本機械製作所は、戦後、遠心分離機の市場に参入した。遠心分離機とは、まさに混沌から純粋を生み出す装置。重力の何千倍もの遠心力を活用し、多様な物質を分離させる。当時の遠心分離機の活用分野は、染料・顔料・肥料等が中心。そこで製薬市場というニッチな分野に着目した同社は、共同開発において「絶対断らない」姿勢を貫き新商品を次々と製造。現在、国内製薬メーカーにおいて60%のシェアを誇る。

近年、医薬品業界は秘密主義の時代から規制緩和へと移行。これが追い風となり、同社はさらに製品開発に邁進している。しかしその反面、汚染や品質変化を防止し、高度な品質を保証するための基準「GMP規格」をクリアするという新たな壁も立ちあがった。これに果敢に挑戦し、基準に対応した遠心分離機で人々の健康や生命を守るために不可欠なより安全性に配慮した医薬品製造プロセスに尽力している。

自動車業界でも活躍 遠心分離技術は世界へも

ほぼすべての国内大手製薬会社に納入実績を持つ同社。クリーンルーム仕様の上部排出遠心分離機『KMシリーズ』は、主力商品のひとつだ。バスケット内外の洗浄が容易なケーシングプレート開閉機構を装備したインバーター直結型で、内容物をスラリ状から脱水、洗浄まで一貫して加工できる。また、二台で複数の物



より良い研究をハイパフォーマンスでサポートする、ラボ用遠心分離機『LAC-2000』

質をつくりたい」という顧客の要望に応え、平成22年には、ろ布を捻転させることにより結晶を全量排出、残留物ゼロを可能にした下部排出加圧遠心分離機『RINO 400』を発表。特許も取得している。

同社の技術は、医薬品業界だけに留まらない。例えば、連続式切削屑脱油遠心分離機『Mシリーズ』は、主に自動車メーカーで活用されている商品だ。これは、NC旋盤を行う際に出る使用済油と切削時に排出される鉄くずを分離。リサイクル・エコの観点から他業界からも注目されている。また、電子材料におけるテスト依頼も増加。この技術で更なる分野開拓も図っていく。

現在の課題は、製造委託業者の廃業による職人不足。そこで、ものづくり企業の原点に立ち返り、社内にて若手職人を育成していく方針だ。「工程のすべてを日本製にすることが難しくなっている今、made in JAPANにこだわったものづくりがしたい」と語る松本社長。日本でなければできない精密なもののづくりを極め、日本らしさを武器に海外戦略も念頭に置く。手始めに米国のFDA規格を取得。今後は、世界の顧客にハイエンド商品を提供していく。

Company Profile

株式会社松本機械製作所

住 所 〒590-0006
堺市堺区錦綾町2-5-1
TEL 072-229-3388
FAX 072-228-1751
設 立 昭和14年9月7日
資本金 1,100万円
従業員 46名
代表取締役社長 松本 佳裕

■主な事業内容

バスケット型遠心分離機の製造販売

■主な取引先

国内製薬会社、化学関連メーカー、食品関連メーカー、自動車メーカー等

<http://www.mark3.co.jp>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

モノは良くて当たり前
総合的な提案力で、プラスαの
価値をめざします

代表取締役社長 松本 佳裕 さん



当社は、各業界のパートナーとしてより良いものを創っていく姿勢を崩しません。「モノはよくて当たり前」。お客様も気付かない、プラスαの提案ができないと生き残れないと肝に銘じ、総合的な提案力を持つ企業として成長していきたいと思っています。